

令和8年度 和歌山市立貴志小学校 スクールプラン

校長名 住岡 弘子 作成日 令和8年5月8日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力の定着
- 楽しい学校
- 相手の気持ちがわかる子供
- 地域にほこりをもつ子供

【学 校 教 育 目 標】

自ら考え、正しく判断し、進んで実践する力を身につけた
人間性豊かな貴志の子供の育成をめざす

【めざす児童像】

- ・ 思いやりのあるやさしい子
- ・ めあてをもってやりぬく子
- ・ たくましく生きる元気な子
- ・ 地域にほこりをもつ子

前年度の学校評価

- 学校と保護者とが協力し、学力向上やいじめゼロをめざしてほしい。
- 学校と地域・保護者が協力し合う取組をさらに進めてほしい。

児童の実態

- 学校が楽しいと感じている子供が多い。
- 授業がよく分かるという子供が多い
- 半面、読み取りや書く力に弱さが見られる子供もいる。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎ 基礎・基本の定着
- ◎ 児童主体の授業づくり
- ◎ 個別最適な学習方法の工夫
- ◎ 家庭学習の定着

豊かな心の育成

- ◎ 道徳・人権学習の充実
- ◎ いじめの早期発見・未然防止
- 読書活動の推進

健やかな体の育成

- ◎ 体力向上
- ◎ 基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎ 家庭・地域との連携充実
- ◎ 地域資源の活用推進
- 中学校区における学校間連携の推進

具体的な取組

- 個人思考の時間を確保し、自分の考えをしっかりと持たせ、話し合わせる。授業の振り返りを大事にし、思考力・表現力の向上を目指す。
- 話し方、聞き方の系統的な指導で言語環境を整え、言語能力の育成を図る。
- 算数科を中心に少人数での取り出しやTT指導を行う。
- ICT等を活用し、教材の可視化を図る。

- 道徳や人権学習の授業の充実させ、生活場面や他教科との関連を図る。
- いじめアンケートを学期に一度実施し、いじめの早期発見に努め、いじめを許さない指導を徹底する。
- 図書室を有効活用するなど読書の習慣づけを図る。
- 児童会が中心となり、「朝のあいさつ運動」等に取り組む。

- 体育科の学習を充実させる。
- 大休憩や昼休憩にみんな遊びやチャレンジランキングに参加して、楽しく協力しながら体力向上を図る。
- 早寝・早起き・朝ごはんをすすめる。
- 避難訓練等を活用し、危機回避能力を育成する。
- 生活習慣調べを実施し、実態を把握し、発信する。

- 学校便りを発行し、教育活動を具体的に発信する。
- 総合的な学習や生活・理科等で、保護者や地域の方、地域教材を有効に活用する。
- 貴志中学校区の小学校で拡大現教を行い、研究授業の交流をする。
- コミュニティスクールや共育で地域の方との交流を図る。

指標

- ・ 全国学力・学習状況調査で県平均正答率と同等にする。
- ・ 授業がわかる(児童 80%)

- ・ 学校が楽しい(児童 80%)
- ・ いじめの解消(児童 100%)
- ・ 図書の本を借りる(児童100%)

- ・ 積極的に運動に取り組んだ(児童 90%)
- ・ 朝ごはんを食べた(児童 100%)

- ・ 学校の様子が伝わった(保護者 90%)
- ・ 地域の方をゲストティーチャーとして招いた授業を行う。
- ・ 拡大現教を行い、授業の交流を行う。